

新宿中村屋の東京土産 焼き菓子専門の新ブランド

「東京ガトー つのはず堂」が誕生

大丸東京店 2017年9月20日 (水) ~9月26日 (火)

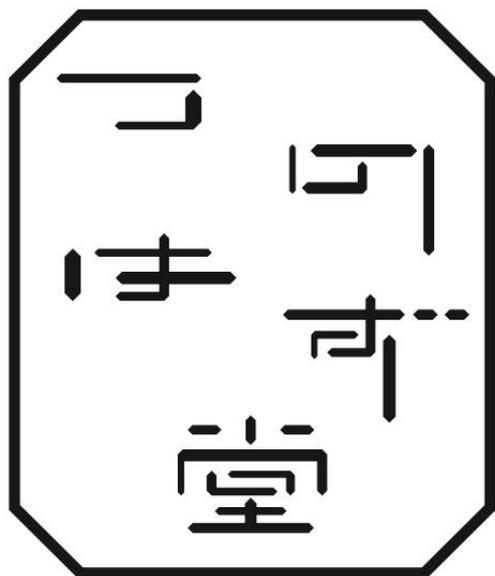
このたび株式会社中村屋（代表取締役社長 鈴木達也、東証第一部：2204）は、焼き菓子専門店の新ブランド「東京ガトー つのはず堂」を期間限定で大丸東京店にオープンいたします。

中村屋は1901（明治34）年、パン屋として創業。1909（明治42）年には和菓子の製造・販売を始め、大正時代になると洋菓子の製造・販売を手がけてまいりました。

新ブランド「東京ガトー つのはず堂」は昭和初期にロシアの製菓技師 スタンレー・オホツキーを雇い、ロシア菓子の製造・販売をしていた当時の商品からヒントを得て、東京土産の焼き菓子専門店として立ち上げました。

新たな東京土産、「東京ガトー つのはず堂」をこの機会にぜひご利用ください。

東京ガトー



TSUNOHAZUDO



【ブランドコンセプト】

「東京ガトー つのはず堂」は、中村屋が展開する東京土産の焼き菓子の新ブランドです。

＜“つのはず”とは…＞

東京・本郷で創業した中村屋は、1909（明治42）年に新宿の現在地に移転しました。移転当時の本店の住所、東京市淀橋区角筈（つのはず）から、ブランド名を「つのはず堂」としました。

昔のレシピをひもとき、こだわりの製法・原料で焼き上げた、懐かしくて新しい洋菓子にしてお届けします。

和魂洋才

西洋と東洋が交差する中村屋本店 東京・角筈

温故知新

受け継がれてきた菓子づくりの精神

不易流行

伝統を守りながらも常に進化し続ける老舗のあり方



＜昭和初期の営業案内。ロシア製菓技師のスタンレー・オホツキーとロシア菓子の紹介＞



＜明治42年に移転した頃の本店と、平成26年にオープンした商業ビル「新宿中村屋ビル」＞

【パッケージデザインについて】

～現代アートとのコラボレーション～

商品を表現したモダンな木版画と手書き風の商品名が融合し、レトロモダンな雰囲気漂う洗礼された大人のデザインを、商品パッケージや手提げ袋などに起用しました。

■ 版画作家：小井田由貴氏

木版画とペインティングを融合させたモダンで個性的な作風が、洗練された大人世代に評価されている若手版画作家です。



【商品概要】



とろっとやわらか。濃厚リッチなキャラメルサンドクッキー

- 商品名：キャラメルガトー
- 商品特徴：生クリームやはちみつを加えてじっくりコトコト煮詰めたオリジナルミルクキャラメルに、ごろごろとしたクルミをたっぷり入れて、香ばしく焼き上げたガドセッククッキーでぜいたくにサンドしました。小麦粉とクリームは北海道産です。
- 価格（税抜）：5コ入 600円
8コ入 1,000円
- 賞味期間：30日



サクッとかわやか。ありそうでなかった新感覚の

チョコビスケット

- 商品名：チョコビスカス
- 商品特徴：小麦粉と卵のシンプルなココア生地を丁寧に二度焼きしたビスケットに、たっぷりチョコレートを染みこませ、極上の食感に仕上げました。最後にまぶした薄焼きクッキーがアクセントです。小麦粉は北海道産を使用しています。
- 価格（税抜）：15コ入 1,000円
- 賞味期間：60日



しっとりふわふわ。スフレのようなチーズバウムクーヘン

- 商品名：ケーゼクーヘン
- 商品特徴：卵をふんわりホイップし、クリームチーズとカマンベールチーズでコク深く仕上げた生地を、直火で一層一層丁寧に焼き上げました。やさしい口当たりとブレンドチーズの奥深い味わいが楽しめます。小麦粉は北海道産です。
- 価格（税抜）：1ホール 1,500円
- 賞味期間：30日

【店舗概要】

店舗名：「東京ガトー つのはず堂」
販売場所：大丸東京店1階 特設会場（MVPスイーツ）
販売期間：2017年9月20日（水）～9月26日（火）
URL：<http://www.tsunohazudo.com/>

【会社概要】

商号：株式会社 中村屋（東証第一部 証券コード：2204）
代表者：代表取締役社長 鈴木 達也
所在地：〒160-0022 東京都新宿区新宿三丁目26番13号
創業：1901（明治34）年12月30日
設立：1923（大正12）年4月1日
事業内容：各種和洋菓子、パン、食品の製造・販売、レストランの経営
資本金：74億6,940万円（平成29年3月31日現在）
URL：<http://www.nakamuraya.co.jp/>